



みなみっ子

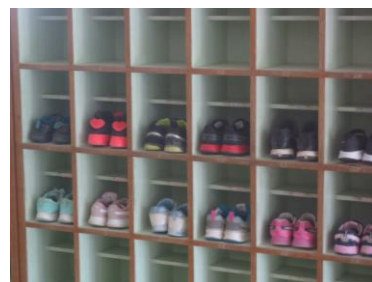
7月の生活目標：「安全に気をつけよう」

NO. 6

四万十市立中村南小学校 (TEL:34-7400)

「そ」そろえよう トイレやげんかん 気持ちよく

毎朝、2年生のある女の子は、玄関の靴箱に靴を入れるときに、かかとをきちんとそろえて入れています。この女の子は、まず、靴を靴箱に入れます。そのあと、かかとを丁寧にそろえています。その様子を見てみると、本当にその子の気持ちが伝わってきます。見ている私も、とても穏やかな、そして、あたたかい気持ちになっています。



ほとんどの子どもが、毎朝、靴箱にきちんとかかとをそろえて靴を入れることができます。きれいに並んだ靴箱の靴から、中村南小学校の子どもたちの心を感じることができます。

玄関の靴箱の靴がそろっているのは、中村南小学校の良い伝統です。子どもたちには、その伝統を引き継ぎながらも、新たな伝統を創造してほしいなと思っています。

玄関の靴は、きちんとそろえられているのですが、トイレのスリッパが時々、散らかっているときがあります。そんな時には、気のついた人がそろえてくれます。

一人ひとりが、トイレのスリッパを使ったあとに、きちんとそろえることができれば、いつもきれいなままで、あとから使う人が気持ちよく使うことができます。



はきものをそろえると心もそろう
心がそろうとはきものもそろう
ぬぐとときにそろえておくと
はくときに心がみだれない
だれかがみだしておいたら
だまってそろえておいてあげよう
そうすればきっと
世界中の人も心もそろうでしょう

左の詩は、数年前にある学校を訪問した時に、トイレに掲示してあった詩です。おもわずその時に、メモをしておいたのですが、後で調べてみると長野市の円福寺の住職であった藤本幸邦住職が作った詩だということがわかりました。

「そ」 そろえよう トイレやげんかん きもちよく

「特別の教科 道徳」の時間

☆毎週1時間の道徳の授業で

すべての学級で、毎週1時間、道徳の時間があります。道徳の時間は、平成30年度より教科となり、教科書を使って子どもたちが学習をしているということは保護者の方もご存じのことと思います。そして、通知票にも、道徳の評価を記載するようになりました。



では、道徳の時間とは、一体どんな時間なのでしょう。道徳の時間は、「心を耕す時間」「生き方を見つめる時間」「自分を見つめる時間」「本音で話す時間」とも言われています。

そして、それぞれの学年の道徳の教科書にも、次のように書かれています。

- 1年生：どうとくの じかんは えや しゃしんを みたり はなしを よんだり してかんじた ことや かんがえた ことを ともだちと はなしあう たのしい じかんです。
- 2年生：どうとくの 時間は 自分の 心を しっかりと そだてる 楽しい 時間 です。
- 3年生：どうとくの時間は 新しい自分に出会うことができる 楽しい時間です。
- 4年生：どうとくの時間は あなたの心の成長をおうえんする時間です。
- 5年生：道徳の時間は これからのあなたを支える時間です。
- 6年生：道徳の時間は あなたの未来を照らす時間です。

道徳の時間を通して、子どもたちには、人間としてよりよく生きようとするために、将来出合うであろう様々な場面や状況でどのように対応したらよいかを考え、自分で判断することができる力を育てることができればと思っています。道徳教育は、特定の価値観を押しつけるものではありません。多様な価値観、いろいろな考え方、感じ方があって、時にはそれらが対立する場合も含めて、誠実にそれらと向き合って、道徳としての問題を考え続けていく姿勢が道徳教育では大切だと考え、毎週1時間の道徳の授業をそれぞれの学級で行っています。

道徳教育推進教師 景平 京子

毎週1時間の道徳の時間は、それぞれの学級で教科書にある資料を使って、様々な内容項目（例えば、善悪の判断、正直、個性の伸長、親切、思いやり、感謝、礼儀、規則の尊重、家族愛、生命の尊さ など）について、学習しています。

道徳の時間は、子どもたちと一緒に「相手に対する思いやりとはどういうことなのか。」「感謝の気持ちとはどういうことなのか。」「正直にふるまうとはどういうことなのか。」などを考えていきます。そして、そのことを自分のこととして考えることが、大事なことだと考え、それぞれの担任が毎週1時間の道徳の授業をしています。

また、これから子どもたちが出会う問題は、答えがない問題や答えが一つとは限らない問題が多くなることが予想されます。道徳の時間には、正解がない問題でも、みんなが納得する納得解をつくり上げていくことも大切だと考えています。

☆家庭で取り組む 高知の道徳



「家庭で取り組む 高知の道徳」の冊子は、各家庭にありますでしょうか。この冊子には、学校で取り組む道徳教育の内容とともに、社会における共通の規範や家庭の中でのルールなど、家庭や地域で子どもさんとのかかわりの中で心がけていただきたいことが掲載されています。

また、幕末や明治期に活躍した郷土の偉人についても掲載されています。

1年生については、今年度に入って配布していますが、2年生以上については、昨年度までに配布をしております。ぜひ、それぞれのご家庭で確認していただき、子どもさんと一緒に使ってください。

この中に、家庭で行う取組として次の7つの取組が紹介されています。

家庭で行う7つの取組 家庭の力は心のエネルギー

- ①毎日きちんとあいさつをしよう
- ②家族と会話をしよう
- ③家族の一員として役割をもとう
- ④子どもにがまんを教えよう
- ⑤体験の中で子どもをきたえよう
- ⑥先人や目上の人を敬う心を育てよう
- ⑦人に迷惑をかけたときはきちんと叱ろう



リモート朝会シリーズ

◎給食朝会も放送で・・・。



新型コロナウイルス感染症対策のために行っているリモート朝会ですが、7月1日は給食朝会を行いました。

「ねずみのすもう」という絵本を給食委員会のみなさんが、読んでくれました。どの教室も、静かに放送を聞くことができました。最後には、本の内容についてのクイズもあり、楽しい給食朝会となりました。

給食委員会のみなさん、ありがとうございました。

七夕に願いをこめよう ～届け！みんなの願い 四万十の空へ～

7月3日（金）～7月7日（火）の期間、四万十市内の多くの施設に笹飾りが設置されていました。これは、四万十市が企画したイベントで、新型コロナウイルス感染症の影響で、長期間、自粛や制限された生活が続く中、少しでも街に活気・人々の笑顔が戻ることを願って行われたものです。



市役所や安並のスポーツセンターなど、多くの施設で、みなさんも目にされたのではないのでしょうか。

中村南小学校でも、一人ひとりが短冊に願いことを書き、学年ごとに笹に飾りました。笹は、玄関に飾っています。短冊は、後日、一条神社でお焚き上げされます。



スクールガードリーダーのご紹介

－林 正秋（はやし まさあき）さん－

四万十市教育委員会では、今年も、児童生徒の地域での安全を守り、子ども達が安心して学校生活をおくれるよう、防犯についての専門的知識とスキルを有する方5名を、“スクールガードリーダー”として委嘱しています。

本校校区は、昨年度に続き、元警察官 林 正秋（はやし まさあき）さんが、担当して下さります。

林さんは、登下校時には、校区を熱心に巡回し、子ども達の安全に温かい心配りと目配りをいただいています。林さんの活動に、心から感謝をしつつ、保護者や地域の皆さんに、ご紹介をさせていただきます。



◎夏休み中のプール開放の中止について

保護者の皆様に監視のご協力をいただき実施しておりました夏休み中のプール開放ですが、今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止とさせていただきます。PTA 執行部とも協議を行い、更衣室やプールでの密接・密集を回避できない状況から、やむを得ず中止とさせていただきました。ご了承ください。また、例年、保護者対象に行っておりました救命救急法の講習も今年度は行いません。